

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり						
施策の基本方針								
災害に強いまちづくりを進めるため、東日本大震災の被害状況などを踏まえ、札幌市の防災体制のあり方を見直し、学校の耐震補強などハード面の整備や備蓄物資の適正な配置など計画的な災害対策を講じます。また、災害発生時に市民みんなの助け合いで被害の最小化を図ることができるよう、自主的防災組織の活性化など地域防災力を高めるための取り組みを進めます。								
政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり						
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)					進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	合計	
施策1 地域防災力を結集した災害対策								
	地域防災計画修正	47,000	9,609	20,632	3,864	15,000	49,105	104.5
	避難場所環境整備	833,000	280,316	294,074	164,283	109,000	847,673	101.8
	土砂災害ハザードマップ作成	7,000	1,838	771	1,258	1,326	5,193	74.2
	防災行政無線更新整備事業	295,000	4,935	5,860	41,951	221,230	273,976	92.9
	防災普及啓発事業	58,000	7,753	8,765	9,269	13,286	39,073	67.4
	災害時における活動支援教育事業	10,000	0	6,508	1,420	1,425	9,353	93.5
	札幌市民防災センターリニューアル事業	98,000	0	92,550	—	—	—	—
	多文化共生推進事業【再掲】	12,900	1,554	2,436	1,240	1,700	6,930	53.7
	地域による防災力強化支援事業 ※数値は各区の事業で掲載	—	—	—	—	—	—	—
施策2 災害に強い安全なまちの整備								
	市有建築物耐震化の推進	1,519,000	13,054	24,174	527,274	961,100	1,525,602	100.4
	市有建築物の改築等【再掲】	2,713,000	759,088	1,622,161	365,060	325,100	3,071,409	113.2
	学校施設耐震補強事業	8,290,000	363,549	3,029,942	3,851,655	3,754,000	10,999,146	132.7
	学校施設改築事業【再掲】	20,756,000	3,141,622	7,110,988	5,620,335	8,677,055	24,550,000	118.3
	白石区複合庁舎整備事業【再掲】	4,306,000	12,252	63,384	68,428	1,391,700	1,535,764	35.7
	災害に強い道づくり事業	13,417,000	2,474,700	3,708,651	5,244,926	6,010,510	17,438,787	130.0
	下水道施設の災害対策	4,051,000	658,754	738,767	747,371	1,781,432	3,926,324	96.9
	緊急貯水槽整備事業	461,000	0	11,542	194,121	325,000	530,663	115.1
	水道施設耐震化事業	5,526,000	471,303	761,724	1,115,802	2,183,088	4,531,917	82.0
	災害時重要施設(医療機関)へ向かう配水管の耐震化	2,042,000	377,781	962,383	932,591	632,073	2,904,828	142.3
	交通局建築施設の耐震化事業	1,432,000	147,676	93,299	147,717	1,435,282	1,823,974	127.4
	民間建築物耐震化促進事業	400,000	36,155	51,623	38,248	167,900	293,926	73.5
	本庁舎非常用発電設備更新整備	328,000	11,890	292,529	—	—	304,419	92.8
	収容避難施設の防災機能の強化	50,000	0	0	29,700	2,400	32,100	64.2
	震災時における消防体制強化事業	71,000	0	40,689	37,499	—	78,188	110.1
	石狩振興局管内消防救急デジタル無線共同整備事業	4,698,000	705,214	2,234,592	668,050	—	3,607,856	76.8
	消防指令システム整備事業	2,145,000	501,113	809,459	714,464	80,500	2,105,536	98.2
	地下水活用システム整備事業	50,000	294	40	12,344	14,660	27,338	54.7
重点課題合計		73,615,900	9,980,450	21,987,543	20,538,870	28,104,767	80,519,080	109.4

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 地域防災力を結集した災害対策							
地域防災計画修正							
1	地域防災計画(津波災害対策編)の策定	—	調査	パンフレット原稿作成	パンフレット作成・配布		策定 (24年度)
2	地域防災計画(原子力災害対策編)の策定	—	調査	策定	策定		策定 (24年度)
避難場所環境整備							
3	避難場所整備計画の見直し	—	調査	策定	策定済 (見直し済)		見直し (24年度)
4	備蓄物資の整備(寝袋)	47,200人分	87,200人分	110,700人分	110,700人分		110,700人分
土砂災害ハザードマップ作成							
5	土砂災害危険箇所のうちハザードマップを作成する箇所数(累計)	27カ所	124カ所	158カ所	267カ所		429カ所
防災行政無線更新整備事業							
6	既存無線システムを対象とした更新	—	基本設計	実施設計	機器製作		基地局5台 統制局2台
防災普及啓発事業							
7	上級防災リーダー研修に参加した人数(累計)	—	—	30人	61人		100人
8	防災教育の推進を実施した学校数	—	—	—	全小中学校		全小中学校
災害時における活動支援教育事業							
9	災害時における活動支援教育を受けた中学生等の数	100人	1,000人	22,131人	21,984人		8,000人
札幌市民防災センターリニューアル事業							
10	来館者数	66,521人	70,936人	73,715人	88,403人		80,000人
多文化共生推進事業【再掲】							
11	主要避難所の多言語表示等の整備	—	整備中	整備	—		整備 (24年度)
地域による防災力強化支援事業							
12	自主防災訓練などの地域防災活動に取り組む地区の数	—	—	92地区	90地区		200地区

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 災害に強い安全なまちの整備							
市有建築物耐震化の推進							
13 耐震化に着手した施設数(学校等を含む。累計)		87施設	121施設	161施設	191施設		194施設
市有建築物の改築等【再掲】							
14 エレベーター設置未着手の地区センター数		7カ所	6カ所	5カ所	4カ所		3カ所
15 区役所への非常用発電設備設置数(累計)		—	—	2区役所	5区役所		5区役所
学校施設耐震補強事業							
16 緊急5カ年計画以降で耐震補強が必要な学校施設の工事完了数(累計)		—	11校	33校	58校		99校
学校施設改築事業【再掲】							
17 計画期間内に着手する学校数(累計)		—	2校	6校	9校		12校
(仮称)白石区複合庁舎整備事業【再掲】							
18 (仮称)白石区複合庁舎の整備		—	基本計画策定	基本設計、民間事業者公募	実施設計		着工
災害に強い道づくり事業							
19 災害に強い橋りょうの割合		65%	67%	70%	77%		84%
下水道施設の災害対策							
20 水再生プラザの耐震化		4カ所	7カ所	7カ所	7カ所		7カ所
21 管路の耐震化		27カ所	42カ所	52カ所	52カ所		87カ所
22 バックアップシステムの構築		59%	60%	65%	70%		84%
緊急貯水槽整備事業							
23 緊急貯水槽設置数		33カ所	33カ所	33カ所	34カ所		37カ所
24 応急給水対応人口		899,000人	899,000人	899,000人	910,000人		943,000人
水道施設耐震化事業							
25 耐震化した施設の数		—	—	—	1施設		6施設
26 配水池耐震施設率		60.2%	65.6%	66.5%	71.7%		82.4%
災害時重要施設(医療機関)へ向かう配水管の耐震化							
27 供給ルートが耐震化されている札幌市災害時基幹病院等の数		12カ所	15カ所	19カ所	22カ所		29カ所
交通局建築施設の耐震化事業							
28 地下鉄高架駅の耐震改修工事の実施(累計)		—	0駅	0駅	0駅		2駅
民間建築物耐震化促進事業							
29 民間建築物(木造以外)の耐震診断補助件数(累計)		47件	58件	72件	81件		167件
本庁舎非常用発電設備更新整備							
30 本庁舎非常用発電設備の更新整備		—	工事着手	更新完了			更新整備(24年度)
収容避難施設の防災機能の強化							
31 体育館の高断熱化実験		—	—	—	高断熱化工事竣工		実証実験
震災時における消防体制強化事業							
32 震災に備えた消防活動体制の整備		—	—	一部整備	整備		整備
石狩振興局管内消防救急デジタル無線共同整備事業							
33 消防救急デジタル無線システム構築		実施設計	機器製造 工事施工	機器製造 工事施工	機器取付・基地局 工事、運用開始		運用開始(25年度)
消防指令システム整備事業							
34 消防指令システム構築		実施設計	機器製造 ソフトウェア開発	機器製造 ソフトウェア開発	機器設置・各試験 調整・運用開始		運用開始(25年度)
地下水活用システム整備事業							
35 災害時における飲料水の確保		—	—	リースによる 整備	稼動訓練の実施		整備(24年度)

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標							
18	災害に対する備えを行っている家庭の割合	61.4% (21年度)	71.2% (23年度)	72.8% (24年度)	71.2% (25年度)		70% (26年度)
		東日本大震災を契機に、市民の防災意識が高まっている。25年度は防災ハンドブック等の新たなパンフレットを活用し、普及啓発に努め、概ね同水準で維持している。					
19	よくやっていると思う施策(市政に対する評価)のうち防災対策に関すること	3.3% (21年度)	2.4% (23年度)	2.8% (24年度)	4.0% (25年度)		10% (26年度)
		「札幌市民防災センター」をリニューアルしたことにより、これまで以上に地震や風水害等の防災に対する意識の向上が図られたことが、実績値の向上に繋がったものと考えられる。					
社会成果指標							
20	災害に備えた活動を行っている自主防災組織の割合	76% (20年度)	82.7% (23年度)	85.1% (24年度)	80.2% (25年度)		90% (26年度)
		実績値が24年度に比べ減少しているが、地域での防災活動が継続して行われていないことが要因と考えられる。					
21	防災意識を高める活動(DIG、出前講座など)に参加した人数	8,480人 (22年度)	12,490人 (23年度)	12,028人 (24年度)	11,625人 (25年度)		10,000人 (26年度)
		出前講座の回数減、小規模化が実績値の減少の要因と考えられるが、防災訓練参加者数は増加しており、概ね同水準を維持している。					
22	地震時に特に配慮が必要となる施設(社会福祉施設、医療施設など)の耐震診断実施率	9.8% (21年度)	14.1% (23年度)	15.6% (24年度)	16.4% (25年度)		30% (26年度)
		25年度までに、私立学校26棟、社会福祉施設8棟、病院15棟で耐震診断補助事業が活用され、実施率上昇に寄与している。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり
事業実績、評価、今後の取り組み等		
施策1 地域防災力を終結した災害対策		
25年度の主な取組内容(実績)		
津波対策のためのパンフレット「津波を知ろう」を配布し、啓発。	災害等に備え、備蓄物資(毛布・食糧)を追加整備。	
南円山地区、山鼻地区など6地区の土砂災害ハザードマップを作成。(109カ所)	災害に対する備えを多言語で掲載した「防災ハンドブック」を作成し、「災害時ポケットガイド」と併せて外国籍市民に配布。	
地域で実施する防災訓練やDIG等、防災の取組に対する支援を実施(92連合町内会・796単位町内会)。	防災教育用教材を全市立小中学校に配布。	
26年度の主な取組内容(予定)		
原子力災害時の避難受け入れ手順などを検討	災害等に備え、備蓄物資(食糧)を追加整備。	
芸術の森地区の土砂災害ハザードマップを作成(95カ所)。	自主防災活動推進のため防災用資機材を助成。	
各区で防災リーダー研修等を開催し、自主防災活動を支援。	市内59中学校の生徒を対象として活動支援教育を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【土砂災害ハザードマップ作成】土砂災害ハザードマップの配布・普及啓発を推進したことで、防災対策に関する市政評価を高めることに貢献した。 【防災普及啓発事業】災害に備えた活動を行う自主防災組織の割合は前年より下がっており、活動を継続させるため、各区防災リーダー研修等の充実を図る必要がある。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【防災普及啓発事業】小中学生への防災教育を家庭への啓発につなげるため、小中学校へ防災教育用教材を配付するとともに活用状況の調査を実施し、教材の的確な活用を推進する。 【地域による防災力強化支援事業】防災は継続的に取り組むことが重要であり、日頃から防災についての啓発、避難訓練、DIG、HUG等を実施し、市民防災の実践へと繋げていく。		
施策2 災害に強い安全なまちの整備		
25年度の主な取組内容(実績)		
北、豊平、南の各区民センターや厚別区体育館などの耐震化工事実施設計。北、東、西の各区役所や青少年科学館などの耐震化工事を実施。	学校39校の耐震化工事を進め、そのうち25校について竣工。	
橋りょうの長寿命化工事を実施し、19橋完了。 橋りょうの耐震補強工事を実施し、1橋完了。	緊急貯水槽の設置工事(2カ所)、緊急貯水槽設置のための土質調査(2カ所)および実施設計(3カ所)を実施。	
石狩振興局管内での消防救急デジタル無線システムの運用開始。		
26年度の主な取組内容(予定)		
北、豊平、南の各区民センターや厚別区体育館などの耐震化工事を実施。	学校44校の耐震化工事を進め、そのうち31校について竣工。	
橋りょうの長寿命化工事を実施し、32橋完了。 橋りょうの耐震補強工事を実施し、6橋完了。	2配水池・3浄水場の耐震補強工事を実施。	
すすきの変電所他11施設の耐震診断。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【下水道施設の災害対策】災害時における下水道施設の機能を確保するため、耐震診断・調査を行い耐震化に取り組むとともに、代替性を確保するための整備を進め、災害に強い安全なまちの整備に貢献できた。 【学校施設耐震補強事業】災害時の避難所となる学校施設の耐震化により、各地域における防災意識の向上が期待される一方で、耐震化が完了していない学校が残ることなどが、防災対策に対する市民の評価の低さにつながっていると考えられる。		

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	1	市民とともに災害に備えるまちづくり
施策2 災害に強い安全なまちの整備		
施策への貢献及び成果指標さつぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【災害に強い道づくり事業】当該事業は、災害時に緊急輸送道路を確保するため、緊急輸送道路の橋りょうについて、耐震化工事と長寿命化工事を行うものであり、市民の安全・安心のために不可欠であることから、今後もスピード感を持って取り組むことで「よくやっていると思う施策(市政に対する評価)のうち防災に関すること」の上昇を目指す。 【緊急貯水槽整備事業】災害時に飲料水を確保できる緊急貯水槽整備や災害の備えに対する市民への啓発活動を拡充し、「よくやっていると思う施策(市政に対する評価)のうち防災に関すること」の上昇を目指す。		
協働の状況		
【学校施設改築事業】基本設計にあたって、保護者や地域住民の代表者等と協議しながら計画案を作成するとともに、保護者や地域住民への住民説明会及び児童へのアンケート等により意見を募集し、設計に反映させた。		
【土砂災害ハザードマップ作成】土砂災害ハザードマップ作成時には住民意見交換会を開催し、住民の意見を反映させるとともに、作成後は住民参加の訓練等を開催する。		